

校長あいさつ

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、学校教育も活動の幅を広げるようになってきました。清瀬小学校では、教育方針「平和を希求し、人権尊重の精神を基調にして、知・徳・体の調和を図りながら、主体的に学ぶ姿勢とたくましく生きる力を身に付けた子供の育成」を掲げ、コロナ禍における新しい教育活動を展開しています。いじめや不登校への対応、特別な配慮を要する子供たちへの合理的配慮など、対応策を講じるべき学校課題は様々ありますが、今こそ学校は「不易」と「流行」が何かを意識し、課題解決に当たることが求められています。そこで本校では、「学校は子供のためにある」ことを教職員一人一人が再認識し、子供を思う「おもいやり」と「こころいき」を土台に、チーム学校として子供たちが毎日ワクワクして通う学校をつくってまいります。これまでと同様に、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育目標の具現化に向けて

教育目標 ●元気な子 ●考える子 ●協力する子 ●仲良くする子

清瀬小学校では、子供たち一人一人が教育目標を具現化できるように、6年間の小学校生活を通して志をもつ子供を育成します。

- ・誰にでも優しく接することができる人になりたい
- ・困っている人を助けられるような人になりたい
- ・どんなときでも自分の考えをもてる人になりたい
- ・責任ある行動がとれるようになりたい

子供たちは、夢や希望として将来就きたい職業をイメージすることがあります。確かに大切なことですが、本校では、「どんな人になりたいか」・「そのためにどんな努力をしていくか」を考え、実践していく力を育てたいと考えています。このことを「志をもつ子供の育成」として位置付けています。

清瀬市立清瀬小学校
校長 谷口 雄磨